

令和元年度 第10回高松圏域自立支援協議会運営会議 議事録

日時：令和2年1月10日（金）10：00-12：00

場所：かがわ総合リハビリテーション福祉センターAV会議室

参加者：高松養護学校養護学校、香川中部養護学校

高松市保健センター、高松市障がい福祉課、直島町住民福祉課

就労支援部会) かがわ総合リハビリテーションセンター

障害者就業・生活支援センターオリーブ

精神保健福祉部会) 障害者地域生活支援センターほっと

相談支援部会) 障害者生活支援センターたかまつ

知的障害者支援部会) 相談支援センターりゅううん

発達障害部会) 発達障害者支援センター「アルプスかがわ」

こども部会) 地域生活支援センターこだま

医療的ケアプロジェクト) 支援センターこがも

当事者団体・家族会連絡会) 相談支援事業所ライブサポートセンター

居宅サービス事業所連絡会) 高松市社会福祉協議会

居宅サービス事業所連絡会) 地域活動支援センタークリマ

事務局) 高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点

会長) 高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点

18名

議題①各部会等報告

○就労支援部会

・しごとサロンたかまつ…居場所事業のブースを新たに設けている。チラシは、ハローワークの登録者に配布している。必要により、2月にハローワークが主催する合同就職面接会につなげたい。

・在宅就業フォーラム…在宅就業をきっかけに社会とつながることができる。特に関係者にも聞いてもらいたい内容。

○精神保健福祉部会

・ピアサポ活動の場・機会拡充及び研修の在り方 WG より、安定してピアサポが活動する場をどう作るかという議論がある。特定のピアサポに依頼が集中している現状もある。ピアサポとは何かというようなことがわかるようなチラシが作成できるとよいかというような案も出ている。

・精神科病院からの地域移行に関して、大川圏域には“精神部会”がなく、新たに立ち上げるのか、高松と合同で行うようにするのかという課題がある。

○相談支援部会

・地域の課題等の情報共有について、放課後等デイや保育所等訪問支援の現状に関する事などは、こども部会で検討してもよいかもしれない。

→他部会で議論する案もありだと思うが、その前に出されたものを相談支援部会で整理する場は必要ではないか。

○身体障害者支援部会

・データ入力用のソフトの作成が遅れており、配布の目途が立っていない。年度内に配布回収ができるようにしていきたい。

○知的障害者支援部会

・年度内最後の部会を今月実施予定。

○発達障害部会

・12/27 高校生ワーキング実施。ワークブックについて、作成者により書式がバラバラであったため、配布資料の様式で統一することを確認した。2月上旬に原稿集約して3月上旬に入稿、年度内に納品の予定。B5判。

○こども部会

略。

○医療的ケア部会

・来年度中に少しずつでもコーディネーターの動きを形作ることができるとよい。1/21にコーディネーターワーキングを実施する中で、配布資料の内容について参加者に意見をもらい、来年度の動きを具体的に考えたい。

○当事者団体・家族会連絡会

略。

○居宅サービス事業所連絡会

・1/17に第2回連絡会の振り返りを行う予定。

○地域生活支援拠点検討部会

・1/31のブロック会議では、三木町と中讃西圏域の地域生活拠点の取り組みが報告される予定。

・自立支援協議会の在り方について

部会のなかで、協議会の在り方について検討を求める意見もある。市町と委託相談支援事業所が中心に役割を担って自立支援協議会を運営してきたが、サービス事業所をはじめまだまだ協議会の運営に巻き込めていない機関があり、どうしても相談支援の視点にたった協議会の方向性になっている。一方で、生活介護事業所だけでも高松市内に40カ所を超える。意見の偏りを防ぐためにもどの機関に加わってもらえばよいか検討は必要。委託相談支援事業所は協議会運営が委託業務として存在するが、他機関はそうでない立場であることも考慮しないといけない。参加いただく機関には協議会パンフを活用するなどして、丁寧に説明し協力を求めていく必要もある。まずは各部会等に参画いただく機関を検討することも

ひとつではないか。

議題②事務局より

○防災に関すること

- ・協議会 HP に要支援者名簿登録のリンクを貼り付けるよう検討中。ただ貼り付けるだけでなく、登録のハードルを下げるような促しの文章を加えて公開したい。
- ・医ケアが必要な方の災害対応については、現状把握のためのプロジェクトを3か月間程度の取り組みとして立ち上げる。

○児童の就学の課題（進捗報告）

- ・重度の子どもが地元に行くケースは多いと感じる。支援学級はいっぱいであり、教育支援委員会（旧就学指導委員会）の判定に従う事例が多いという印象ではない。就学前の就学に関する相談の場として、特別支援学校の相談センターなどがある。相談したら地元に行けないというものではなく、幼稚部から地元を選択するケースもある。

○今年度予算について

2月末で締める（3月に支出が決まっている部会等は除く）ことを確認。

次回 2月14日（金）10：00-12：00 かがわりハ AV会議室にて *9：15-9：45 打合会